

各研究所

「キリスト教文化研究所」 「児童臨床研究所」

キリスト教文化研究所

日本の児童文化とキリスト教

教授 小林 修典
(専門分野：キリスト教学)

近代日本の児童文化の発展の過程においてキリスト教は重要な役割を果たしました。とくにキリスト教思想に基づくフレールベルの始めた幼稚園教育の日本への移入と、教会関係者によって行われたキリスト教精神を伝える西洋の児童文学の翻訳は重要です。

日本文学とキリスト教

教授 山根 道公
(専門分野：日本キリスト教文学)

日本文学者の中で、キリスト教と深く関わり、それをテーマにした作品を書き続けた作家の代表として、芥川龍之介と遠藤周作を取り上げ、作家の生涯をたどりながら、そこから生まれたキリスト教的テーマをもつ作品について解説し、その現代的な意義を考えます。

台湾先住民族とキリスト教

講師 岡田 紅理子
(専門分野：文化人類学)

台湾において、キリスト教が政治・文化に与えた影響は小さくありません。特に先住民族社会においては、それが顕著です。台湾の歴史を概観しながら、今日に至る先住民族とキリスト教会との関わりを紹介し、キリスト教が先住民族社会に果たす役割を考えます。

児童臨床研究所

子どもと出会う保育学

教授 西 隆太郎
(専門分野：保育学・臨床心理学)

保育は人と人のかかわりによって成り立つものであり、出会いを通してともに育つ相互的な営みです。保育の体験から、私たちは人間について、また信頼関係の原点について学ぶことができます。そんな保育学について、事例を通して具体的にお話します。

“障害”のある子どものより良い成長を支援するために

准教授 東 俊一
(専門分野：障害児心理)

近年、障害のある子どもへの支援の重要性が叫ばれています。では、“障害”とはどのようなもので、障害のある子どものより良い成長を促すために、どのような支援が必要なのでしょう？ その概要について紹介します。